

JTA Journal

ジャーナル

April 2016 (平成28年4月)

No.4

巻頭言



人の輪を櫂でつなぐJTA

副会長

石川

則男

昨年6月に旧・超硬工具協会と旧・日本工具工業会が統合した日本機械工具工業会 JTAは、会員の皆様の多大なるご理解とご支援のおかげで無事船出を果たすことが出来ました。二つの工業会は両団体に加盟していた企業もあり、完全に独自に運営されていたわけではなく、それぞれの人の輪、仕事の輪というものは知恵の輪 (wire puzzle) のようにつながっていました。以前は、同じ製品群を製造する企業がそれぞれの団体に所属していた関係で、統計という観点では明確な分類に基づいたものとは言えず、複雑で知恵の輪のような状態でした。遊びでいう知恵の輪というものは簡単に外すことは出来ない二つ以上の部品 (知恵の輪) を外したり、つなげたりする過程を楽しむものですが、人の輪、仕事の輪、そして業界という“輪”は“和”でもあります。つながりがあまりに複雑では一体として効率よく機能することは難しいと思います。

日本機械工具工業会はその名にふさわしく、工作機械で使用される切削工具と耐摩耗工具を製造販売している日本所在企業唯一の団体であり、人の輪、仕事の輪、業界統計の輪がシンプルにつながることが出来ました。さて日本機械工具工業会が目指すものは何かと言えば、日本の産業経済に貢献することはもちろんのことですが、世界市場で当工業会のプレゼンスを高め、JTA会員企業の製品とサービスが輝く“MADE IN JAPAN”といった強く魅力的なブランドとして世界市場で認められることかと思えます。「当社はJTA会員企業です」と海外の取引先に説明すれば「それなら品質は折り紙付ですね」といったイメージが世界市場に浸透すればこんなありがたいことはありません。もう一つ付け加えれば世界市場での工業規格や環境対応の課題などの業界共通の難題に直面した場合に備え、世界の切削工具業界の中で人の輪を広げること重要です。当工業会のプレゼンスが高まれば自然と世界の工具団体からも一目置かれる団体になり、種々の状況下でリーダーシップを取ることも可能になることでしょう。

当工業会に集った企業の輪、人の輪を“和”に変えて、世界の工具工業会に広げましょう。日本機械工具工業会には正会員、賛助会員合わせ120社を超える企業が加盟しました。それぞれの企業から当工業会に参加している経営者、部門責任者、担当者は数多くいらっしゃいますが、それぞれの方には任期と言った時間の制約もあります。皆さんの責任はこの“輪”と“和”という櫂を次の担当者につなぐことです。櫂は丁寧に落とさずにつないでいくことが重要です。櫂リレー、よろしく願い致します。

(オーエスジー(株)代表取締役社長)

第2回 技術交流発表会

技術者の相互研鑽及び最新技術の紹介等を目的とした第2回技術交流発表会が2月8日、財団法人大阪科学技術センター8階中ホールにて開催され、32社88名が参加した。

中村技術委員会副委員長の司会のもと、開催にあたって櫻井技術委員会委員長より開会の挨拶があり、引き続き平成27年度日本機械工具工業会賞受賞記念講演会として、右記9件についてご講演いただいた。どの製品も開発のきっかけは、顧客からの要望、環境対策、コストの削減、時間短縮からきている。このような課題を乗り越え、また現状に満足せず、改善していく姿勢が、今後のものづくりの発展につながっていくことを実感した講演会だった。

また、特別ゲスト講演として、東京大学名誉教授ファインテック株式会社代表取締役会長中川威雄様より『スマホ切削^{きょうたい}筐体と工具』と題して、ご講演いただいた。実際に、スマートフォンの型技術の歴史がわかる歴代の本体が回覧され、普段見る事のないスマートフォンの内部に、受講者の関心が集まった。内部の加工も工具も歴史と共に、コンパクトでスマートなものになっていることがわかった。

会議終了後、講演者への記念品贈呈および懇親会を開催し、閉会した。

受賞記念講演一覧 (敬称略)

- ①高効率・多機能タップ Aタップの開発
オーエスジー株式会社
開発グループ穴開け開発チーム 中嶋 孝之
- ②新サイアロン工具KS6030の開発
京セラ株式会社
機械工具技術開発部 渡邊 孝
- ③内部クーラント溝入れ切断用カッター コロミルQD
サンドビック株式会社
技術/製品開発部 桐石 大輔
- ④焼入鋼加工用BNC2010/BNC2020の開発
住友電工ハードメタル株式会社
超高压マテリアル開発部 松田 裕介
- ⑤極限の高送り加工を実現する『SKSエクストリーム』の開発
ダイジェット工業株式会社
技術部切削工具開発課代理 濱田 知宏
- ⑥3コーナ肩削りカッタ「TUNG-TRI」の開発
株式会社タンガロイ
切削工具開発部 阿曾 隆弘
- ⑦内径加工用工具「STICK DUO SPLASH」の開発
日本特殊陶業株式会社
機械工具事業部技術部製品設計課主任 北川 修介
- ⑧MC対応トラバース式バルブシート加工工具の開発
富士精工株式会社
技術部開発課 小島 秋広
- ⑨コーテッドCBN材種 BC8110の開発
三菱マテリアル株式会社
加工事業カンパニー開発本部 油本 憲志



■東京大学名誉教授
ファインテック株式会社 代表取締役会長 中川 威雄様



■発表会の様子

第1回 環境活動交流発表会

2月12日、第1回環境活動交流発表会が日立金属高輪和彊館に於いて34社66名の出席で開催された。

鶴巻環境担当理事の開会挨拶の後、清水環境賞専門委員会委員長進行の下、環境大賞1件、環境特別賞3件、環境活動賞9件の受賞が発表された。受賞概要説明の後、桑原環境賞専門委員から平成27年度環境調査票集計報告と平成28年度予定について報告があっ



■ 鶴巻環境担当理事

た。最後に谷内環境委員長に閉会挨拶を頂き、発表会を終了した。その後の懇親会で、受賞会社へ記念品が贈呈された。

環境問題は、資源や経済といった、企業の事業そのものの行方にも大きく関係する重要な課題である。企業には、社会の一ステークホルダーとして、環境問題を解決するための参画と取り組みが求められている。そのため、同じ業界に所属する企業が、お互いの環境対応の知識や知恵を共有することが出来るこのような発表会は大変意義のある事と思った。

【鶴巻環境担当理事挨拶要旨】

将来へ向けて環境対応への重要性が増幅し、企業活動への成否にも繋がってくると想像されます。環境対応の幅の広さは言うまでもなく、我々自身が直接的に自社の製造ラインでの省エネ、CO₂排出抑制、ゼロエミッションなどを十分に施していくことから、工具メーカーとして、様々な分野のお客様の環境対応への取り組みに積極的に貢献していく間接的な取り組みがあります。おそらく後者の方が、地球規模で遥かに大きな影響をもたらすことだと想定されます。特に、日本は国を挙げての環境対応先進国ですし、やはりこの視点でも世界をリードする日本のユーザーと協力して、今まで以上に先進的な加工技術の創出や工具の開発に取り組んでいくことは、企業として最も価値のあることだと思います。

【環境大賞受賞インタビュー】

一 受賞されたお喜びの声を聞かせてください。

今回、機械工具事業部の方々が実施している環境活動をぜひ多くの方に知って頂きたいということで工業会へ申請しました。工場や会社自体の色々な環境への取組みを知って頂くことが出来、このような場を設けて頂けて非常に嬉しいです。

一 今後の意気込みをお願いします。

環境対策は産業廃棄物だと有価物化、省エネだと機器の更新の活動が中心ですが、今後はもっと技術的な面もアップさせていきたいと思っています。



■ 京セラ(株)鶴長未来さん

発表会社一覧 (敬称略)

【環境大賞】

環境大賞/京セラ株式会社 環境部環境安全部環境課メンバー 鶴長 未来

高レベルの環境マネジメントのもと地球温暖化防止、廃棄物削減の各環境活動に積極的に取組まれ組織的な仕組み(基盤)が確立されており、改善の推進力も高く、生産拡大の局面にあっても改善実績を着実に積重ね、今回の環境調査で総合評価第1位となった。

【環境特別賞】

CO₂削減/株式会社田野井製作所 技術部技術課部長 木暮 一彦

廃棄物削減 ゼロエミッション100%達成/三菱マテリアル株式会社 筑波製作所安全環境管理室 練木 貴之

廃棄物削減 ゼロエミッション100%達成/住友電工ハードメタル株式会社 省資源分科会会長 戸田 直大

【環境活動賞】

給水ポンプのインバーター制御運転による省エネ化/オーエスジー株式会社 第2製造部生産管理課3係係長 夏目 孝志

汚泥有価物化による産業廃棄物削減/京セラ株式会社 機械工具事業本部機械工具製造部生産技術部 高崎 耕平

LEDランプの導入による省エネ/京セラ株式会社 機械工具事業本部機械工具製造部管理部一般管理課 課責任者 三好 正法

キャンペーン用商品パンフレット作成環境改善/ダイジェット工業株式会社 営業企画室課長 田淵 繁

再生可能エネルギー(太陽光発電設備)の導入/株式会社タンガロイ 総務部建設工務グループ 片山 忠

砥石リサイクル拡大による産廃埋立率の削減/株式会社不二越 工具事業部生産技術部担当 千代 博文

コンプレッサ停止タイマーによる消費電力量の低減/富士精工株式会社 熊本工場生産技術課 椎屋 定昭

空調機更新に伴う室内機送風配管のループ化/富士精工株式会社 鹿児島工場工場管理課 熊ヶ迫 貴久

圧縮空気配管見直しによる電力低減/三菱マテリアル株式会社 岐阜製作所設備技術部係員 塩入 勲



■ 発表会の様子

平成28年新年賀詞交歓会

日本機械工具工業会として初めての新年賀詞交歓会は、1月7日東京都千代田区丸の内の銀行倶楽部にて、学識経験者、関係官公庁、関連団体はじめ多数の来賓を迎え開催した。

冒頭、本間会長は挨拶の中で、「旧超硬工具協会と旧日本工具工業会が67年の歳月を経て統合を果たし、これから新たな歴史をつくっていききたい。」と述べた。

また経済産業省製造産業局産業機械課 佐脇紀代志課

長が来賓を代表され、「世界的にもものづくりのあり方が注目されている中で、機械工具業界の伸びを楽しみにしている。」と祝辞を述べられた。

乾杯の発声は牛島副会長の音頭により、参会者全員がグラスを高らかに掲げた。

午後1時半過ぎ、宴もたけなわの頃、石川副会長が中締めを行い参加者272名全員で平成28年新春の門出を祝った。



■本間会長挨拶



■経産省佐脇課長祝辞



■石川副会長中締め



■牛島副会長乾杯



■賀詞交歓会会場



■立礼

◆会社紹介

1960年創業の当社は設立以来カメラ用交換レンズなどの光学機器部品を製造しています。当社のある塩尻市は長野県のほぼ中央に位置し、当地には戦時中に日本光学が疎開していたこともあり、諏訪地域と並び光学に係る会社が多い地域です。

交換レンズに使用される鏡筒部品は薄肉で変形しやすく高度な加工技術が求められ、製造の現場では多くの特殊工具を使用し部品の製作をしています。



当社では2010年頃より自社で使用している特殊工具の製作に挑戦し、社内での効率アップを図ってきましたが予想以上に良好な工具が製作できたことから、2014年頃より外販にも乗り出しました。

光学部品製造で扱っている被削材はアルミニウムが主な為、これを切削するために開発された多結晶ダイヤモンドを使用したインサート&インサートホルダー及び、CNC工具研削盤を使用して作る超硬ソリッド特殊エンドミルを主な販売品目としています。



100m²もない小さな空間が工具製作部隊の戦場です。で、多くの工具を作り出す事は出来ませんがニッチな市場を求めて研鑽を重ねています。

今後も機械加工の工場と一体となり機械加工現場の要望に応える工具製作を目指し、そしてお客様とともに発展して参ります。

◆ご当地紹介

当社工場がある塩尻市の桔梗ヶ原では明治の頃からブドウ栽培が盛んになり、同時に長野県でも初めてのワイン醸造が行われました。昭和の時代に入ると葡萄酒醸造工場を誘致し、その後葡萄酒産業は順調に発展をとげ、今では市内に9社のワイナリーと日本の高校では数少ない酒類製造免許を持つ1校のワイナリーができています。

当地は昼夜の温度差が大きい上に、近年の温暖化の影響もあり美味しいブドウが出来る気候条件が最適になったと言われ、そのブドウで作るワインは多くの金賞を受賞し、桔梗ヶ原の名前は全国的にも知られる様になりました。



◆ご当地の見どころ



木曽谷を貫く中山道沿いに約1キロメートルにわたって家並みが続く奈良井宿は鳥居峠という難所をひかえ、中山道木曽十一宿中最も賑わった宿場町でした。その繁栄のさまは「奈良井千軒」とも呼ばれるほどです。江戸時代や明治時代の建築物が立ち並び、往時の

面影を色濃く残す奈良井宿は、昭和53年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

塩尻市は平成の大合併により木曽郡より編入した檜川地区にある「宿場町-奈良井」と「漆工町-木曽平沢」の2つの重要伝統的建造物群保存地区を有した全国的に見てもめずらしい市です。



大阪のビジネス街の骨董通り散策

業務委員会 委員長 田中 滋彦

骨董が好きで、以前は、京都・東寺や大阪・四天王寺によく出かけましたが、今はもっぱら大阪市内の老松町で開催される骨董市に出かけています。

大阪のビジネス街の梅田と淀屋橋の間に米国総領事館がありますが、老松町は、その裏手の地区です。地図では大阪市北区西天満4丁目にあたります。老舗の骨董店の老松町への移転や大阪市立東洋陶磁美術館が近くに設立されたことをきっかけに、骨董店が集まるようになり、現在、約40店舗が狭い地区に集まっています。中国の陶磁器や青銅器、ガラス製品、絵画、茶道具、印刷物といった、特定の骨董品を扱う店から幅広い骨董品を扱う店まで様々です。

老松町では、年2回、春と秋に老松古美術祭という骨董市が開催されています。昨年秋に第41回老松古美術祭を開催していますので、20年の歴史があると思います。開催は土曜日、日曜日の二日間で、休日の気分転換をかねて、毎回訪れています。

私は、もともと、日本や中国の古い歴史が好きでしたので、日本の縄文式や弥生式、中国の新石器時代の土器や青銅器を目当てに訪れていましたが、印刷物を扱っている店に偶々立ち寄りしました。昔の絵葉書や入場券、チラシが箱の中に束ねて置かれていました。束の中の印刷物を一枚一枚見ていきますと、古い株券が何枚か入っていました。会社としては既に存在していないため、株式としての本来の価値は当然ありません。値段は1枚が千円前後でした。

その時に購入したのは大正時代に発行された南満州鉄道株式会社の10株券でした。日本史の教科書にも出てくる会社で興味がありましたので、その場で買おうと思いました。店主に値段を聞くと1,200円とのことでしたが、値切って1,000円で買いました。

家に帰った後、株券記載の代表者や株主についてインターネットで調べてみました。代表者は鉄道官僚から鉄道大臣ま

でのぼりつめた鉄道業界の有力者、株主の情報については、見つけることはできませんでした。

それから、老松古美術祭に行くたびに面白そうな株券がないか、同じ店で古い印刷物の束の中を探しました。この数年で、鉄道の他に、メーカー、銀行、証券会社等、20枚ほど集めました。

これらの株券の中で、最も気に入っているのは広島綿糸紡績会社の株券です。発行が明治15年と古いことに加え、官営工場の払い下げを受けて事業を開始したという経緯、株券記載の代表者が幕末に討幕活動に参加し、明治になって実業界に入り、広島銀行の前身の第百四十六国立銀行や、広島綿糸紡績の初代社長を務めた人物という点で面白いと思いました。レトロなデザインも気に入っています。

集めた株券はクリアファイルに保管し、時々、一人で眺めています。家族は誰一人として関心が無いため、将来は新聞やチラシと一緒に古紙回収に出されるのだらうなと思っています。

話はかわりますが、大阪の心斎橋と同様に、老松古美術祭でも最近では中国からの来訪者が増えています。私は印刷物を扱う骨董店の他に中国陶磁器や青銅器を扱う骨董店にも立ち寄ります。こちらは私の小遣いでは買えない、高いものを扱っていますので、骨董品を見たり、触らせて頂いたり、時々雑談したりして帰るだけですが、店主曰く、中国が豊かになったこともあり、骨董品の人気が年々高くなっており、過去の混乱期に日本に渡ってきたものが、中国に戻って行っている、その結果、日本の国内で手ごろな価格で買えるものが少なくなっているとのこと。

もし、骨董品を見て回るのが好きでしたら、一度、老松町を訪れては如何でしょうか。

(住友電気工業(株)ハードメタル事業部 業務部部長補佐)



委員会、専門委員会、部会 名簿 (順不同)

平成28年(2016年)3月31日現在

コンプライアンス委員会

委員長	木下 徳彦…富士ダイス(株)
委員	岩田 昌尚…(株)イワタツール
〃	田中 博信…オーエスジー(株)
〃	田中 滋彦…住友電気工業(株)
〃	三井 淳一…ダイジェット工業(株)
〃	成瀬 喜啓…(株)タンガロイ
〃	坂本 晴彦…(株)不二越
〃	浦本 武志…(株)不二越
〃	西嶋 守男…富士ダイス(株)
〃	我妻 真一…富士ダイス(株)
〃	増田 寛…三菱重工工作機械(株)
〃	加藤 史之…三菱マテリアル(株)
〃	上泉 泰…(株)彌海和製作所

総務委員会

委員長	坂本 晴彦…(株)不二越
委員	岩田 昌尚…(株)イワタツール
〃	田中 博信…オーエスジー(株)
〃	田中 滋彦…住友電気工業(株)
〃	三井 淳一…ダイジェット工業(株)
〃	成瀬 喜啓…(株)タンガロイ
〃	浦本 武志…(株)不二越
〃	我妻 真一…富士ダイス(株)
〃	増田 寛…三菱重工工作機械(株)
〃	加藤 史之…三菱マテリアル(株)
〃	上泉 泰…(株)彌海和製作所

機関誌編集委員会

委員長	日下祐次…日本機械工具工業会
委員	石橋 一葉…(株)アライドマテリアル
〃	久保田くみ子…オーエスジー(株)
〃	柿島 夏紀…(株)不二越
〃	小川真由子…富士ダイス(株)
〃	市東有希子…三菱マテリアル(株)
〃	細島 圭三…(株)彌海和製作所
事務局	関口紳一郎…日本機械工具工業会
〃	大石 哲也…日本機械工具工業会
〃	堤 加世子…日本機械工具工業会

業務委員会

委員長	田中 滋彦…住友電気工業(株)
委員	甲斐 匡介…(株)アサヒ工具製作所
〃	釣 秀樹…(株)アライドマテリアル
〃	田中 修…エフ・ピー・ツール(株)
〃	太田 正志…兼房(株)
〃	依 正憲…(株)カワイエンジニアリング
〃	中村 亨…(株)共立合金製作所
〃	村上 由記…サンアロイ工業(株)
〃	福岡 信彦…サンドビック(株)
〃	三井 淳一…ダイジェット工業(株)
〃	成瀬 喜啓…(株)タンガロイ
〃	川瀬 幸久…(株)中京
〃	伏見 隆…東邦金属(株)
〃	谷奥 量…日本新金属(株)
〃	前田 英二…日本タングステン(株)
〃	山田 正通…日本特殊陶業(株)
〃	山本 祐二…日本ハードメタル(株)
〃	西尾 昌一…(株)ノトアロイ
〃	大久保 照…富士精工(株)
〃	我妻 真一…富士ダイス(株)
〃	安田 義晴…三菱日立ツール(株)
〃	加藤 史之…三菱マテリアル(株)
〃	矢野 和義…矢野金属(株)

技術委員会

委員長	櫻井 正俊…オーエスジー(株)
副委員長	沖田 淳也…住友電気工業(株)
〃	五島 康…(株)不二越
〃	中村清一郎…三菱マテリアル(株)
委員	常川 稔…(株)アライドマテリアル
〃	萩原 昇…(株)アサヒ工具製作所
〃	小出 文也…オーエスジー(株)
〃	鳥居 武志…オーエスジー(株)
〃	西尾 悟…兼房(株)
〃	池戸 洋一…(株)カワイエンジニアリング
〃	小島 義秀…京セラ(株)
〃	荒木 毅…(株)共立合金製作所
〃	柳田 秀文…サンアロイ工業(株)
〃	河田 洋一…サンドビック(株)
〃	藤井 繁光…ダイジェット工業(株)
〃	望月 桂…(株)タンガロイ
〃	川瀬 幸久…(株)中京
〃	渡部 聡…東邦金属(株)
〃	田中 宏季…日本タングステン(株)
〃	小出 実…日本特殊陶業(株)
〃	田栗 裕輔…日本ハードメタル(株)
〃	林 憲一…(株)ノトアロイ
〃	齋藤 実…富士ダイス(株)

委員	東脇 啓文…マコロイ工業(株)
〃	有澤 秀彰…三菱重工工作機械(株)
〃	久保 裕…三菱日立ツール(株)
〃	西川 正寿…三菱マテリアル(株)
〃	矢野 和義…矢野金属(株)
〃	三井 雅夫…(株)彌海和製作所
〃	佐藤 彰…ユニオンツール(株)

ドリル専門委員会

委員長	五島 康…(株)不二越
委員	田中 敦則…(株)宇都宮製作所
〃	丸山 幹夫…理研製鋼(株)
〃	中村清一郎…三菱マテリアル(株)
〃	岡部 晴峰…(株)岡部工具製作所
〃	岩田 昌尚…(株)イワタツール
〃	山本 剛広…オーエスジー(株)
〃	澤木 一彦…(株)サイトウ製作所
〃	川畑 文浩…日本超硬(株)

フライス専門委員会

委員長	鳥居 武志…オーエスジー(株)
委員	内山 潔…(株)不二越
〃	田中 洋光…三菱マテリアル(株)
〃	高萩 敦之…大洋ツール(株)
〃	佐藤 彰…ユニオンツール(株)

歯切工具専門委員会

委員長	西川 正寿…三菱マテリアル(株)
委員	藤寄 和寛…三菱マテリアル(株)
〃	澁谷 吉晴…(株)小笠原プレジジョンラボラトリー
〃	楠井 鉄治…大和精密工具(株)
〃	大田 芳寿…(株)不二越
〃	有澤 秀彰…三菱重工工作機械(株)

ねじ切り工具専門委員会

委員長	三井 雅夫…(株)彌海和製作所
委員	谷米 学…(株)彌海和プレジジョン
〃	木暮 一彦…(株)田野井製作所
〃	小出 文也…オーエスジー(株)
〃	高見 俊輔…(株)不二越
〃	八馬 厚雄…酒井精工(株)
〃	林 達志…(株)野村工具製作所
〃	横田 茂夫…レックス工業(株)
〃	松本 正徳…(株)大岡製作所

耐摩耗工具専門委員会

委員	荒木 毅…(株)共立合金製作所
〃	柳田 秀文…サンアロイ工業(株)
〃	板持 富夫…ダイジェット工業(株)
〃	田中 宏季…日本タングステン(株)
〃	齋藤 実…富士ダイス(株)
〃	東脇 啓文…マコロイ工業(株)
〃	大澤 幹雄…瑞穂工業(株)

刃先交換工具専門委員会

委員長	望月 桂…(株)タンガロイ
委員	常川 稔…(株)アライドマテリアル
〃	小島 義秀…京セラ(株)
〃	木村 茂…サンドビック(株)
〃	沖田 淳也…住友電気工業(株)
〃	藤井 繁光…ダイジェット工業(株)
〃	齋藤 実…富士ダイス(株)
〃	久保 裕…三菱日立ツール(株)
〃	中村清一郎…三菱マテリアル(株)
〃	小出 実…日本特殊陶業(株)

知的財産専門委員会

委員長	田川 昌宏…住友電気工業(株)
委員	谷川 宣人…京セラ(株)
〃	佃 雅司…(株)共立合金製作所
〃	曾根 武夫…サンドビック(株)
〃	河田 洋一…サンドビック(株)
〃	澤田 明男…ダイジェット工業(株)
〃	佐藤 学…(株)タンガロイ
〃	吉本 博文…日本新金属(株)
〃	松島 理浩…日本特殊陶業(株)
〃	田栗 裕輔…日本ハードメタル(株)
〃	藤井 章博…富士精工(株)
〃	中村 瑞穂…富士ダイス(株)
〃	笠越 利幸…三菱日立ツール(株)
〃	松山 典子…三菱マテリアル(株)

環境委員会

委員長	谷内 俊之…三菱マテリアル(株)
副委員長	清水 文人…オーエスジー(株)
〃	大窪 雅之…(株)不二越
〃	齋藤 実…富士ダイス(株)
委員	桑原 浩之…(株)宇都宮製作所

委員	山川 寿康…兼房(株)
〃	依 正憲…(株)カワイエンジニアリング
〃	三好 正法…京セラ(株)
〃	植田 光治…(株)共立合金製作所
〃	坪田 満晴…サンアロイ工業(株)
〃	平野 和男…サンドビック(株)
〃	京谷 達也…住友電気工業(株)
〃	早川 和男…ダイジェット工業(株)
〃	木暮 一彦…(株)田野井製作所
〃	諏訪 岳之…(株)タンガロイ
〃	太田 吉保…日本特殊陶業(株)
〃	丸山 茂…日本ハードメタル(株)
〃	林 憲一…(株)ノトアロイ
〃	市川 博規…富士精工(株)
〃	塚本 雅淑…三菱日立ツール(株)
〃	須藤 俊亮…三菱マテリアル(株)
〃	馬場 健一…理研製鋼(株)
〃	矢野 和義…矢野金属(株)

国際委員会

委員	岩田 昌尚…(株)イワタツール
〃	依 正憲…(株)カワイエンジニアリング
〃	齋藤 智義…(株)サイトウ製作所
〃	田中 滋彦…住友電気工業(株)
〃	田野井優美…(株)田野井製作所
〃	浦本 武志…(株)不二越
〃	矢野 和義…矢野金属(株)

ドリル部会

部長	藤平 欣司…(株)不二越
委員	宇都宮崇寛…(株)宇都宮製作所
〃	岡部 晴峰…(株)岡部工具製作所
〃	金森 誠…(株)金森ドリル製作所
〃	齋藤 智義…(株)サイトウ製作所
〃	今橋 孝弘…(株)藤藤ツツキドリル製作所
〃	山本 稔…山本精工(株)
〃	古澤 正弘…(株)彌海和製作所
〃	岩野 純一…理研製鋼(株)
〃	岩田 昌尚…(株)イワタツール
〃	岡村秀一郎…オーエスジー(株)
〃	漆原 学…三菱マテリアル(株)
〃	寺原 泰治…日本エリコンバルブズ(株)
〃	熊田 実…(株)栄工舎
〃	都築 定文…日本超硬(株)

フライス部会

部長	今泉 英明…オーエスジー(株)
委員	岡村秀一郎…オーエスジー(株)
〃	宇都宮崇寛…(株)宇都宮製作所
〃	田中 修…エフ・ピー・ツール(株)
〃	松本 博一…(株)エムエーツール
〃	高萩 敦之…大洋ツール(株)
〃	岩野 純一…理研製鋼(株)
〃	大見 満宏…大見工業(株)
〃	藤平 欣司…(株)不二越
〃	漆原 学…三菱マテリアル(株)
〃	岡崎 華…岡崎精工(株)
〃	長濱 明治…(株)日研工作所
〃	吉田 信夫…(株)吉田製作所
〃	上瀧 正己…(株)山陽製作所
〃	寺原 泰治…日本エリコンバルブズ(株)
〃	熊田 実…(株)栄工舎

歯切工具部会

部長	西川 正寿…三菱マテリアル(株)
委員	仲野 尉二…(株)小笠原プレジジョンラボラトリー
〃	畑 保則…(株)不二越
〃	平田 泰史…三菱重工工作機械(株)
〃	高橋 勉…大和精密工具(株)

ねじ切り工具部会

部長	古澤 正弘…(株)彌海和製作所
委員	岡田 吉弘…(株)大岡製作所
〃	早坂 儀…(株)早坂精密工業
〃	大友 広樹…(株)田野井製作所
〃	田中 博信…オーエスジー(株)
〃	高林 伸年…(株)不二越
〃	石橋 秀男…(株)イシハシ精工
〃	赤松 直樹…酒井精工(株)
〃	宮川 宣之…レックス工業(株)
〃	伊藤 和夫…(株)野村工具製作所

バイト部会

部長	植山 浩…高周波精密(株)
委員	寺島 誠人…(株)東鋼
〃	宮嶋 和也…(株)ユーテムプレジジョン
〃	畑 保則…(株)不二越
〃	千地 克典…(株)三和製作所

日本機械工具工業会 平成27年暦年生産・出荷額実績

特殊鋼工具 平成25～27年生産額実績

(単位：百万円、%)

品 目	平成25年生産実績		平成26年生産実績				平成27年生産実績					
	年間合計	前年比	1～6月合計	7～12月合計	年間合計	前年比	1～6月合計	前年同比	7～12月合計	前年同比	年間合計	前年比
ドリル	16,831	100.1	9,099	9,518	18,617	110.6	9,634	105.9	9,831	103.3	19,465	104.6
ミーリングカッタ	8,674	92.8	4,908	4,926	9,834	113.4	5,296	107.9	5,014	101.8	10,310	104.8
ギヤカッタ	9,408	88.7	4,855	5,112	9,967	105.9	4,973	102.4	4,884	95.5	9,857	98.9
ブローチ	13,168	107.2	6,898	6,456	13,354	101.4	6,886	99.8	7,235	112.1	14,121	105.7
タップ・ダイス	26,963	83.7	14,841	15,820	30,661	113.7	16,079	108.3	16,159	102.1	32,238	105.1
リーマ・バイト	3,485	93.7	1,815	1,895	3,710	106.5	1,801	99.2	1,855	97.9	3,656	98.5
合 計	78,529	92.4	42,416	43,727	86,143	109.7	44,669	105.3	44,978	102.9	89,647	104.1

(出典：経済産業省 機械統計)

ソリッド切削工具(ハイス+超硬) 平成25～27年生産額実績

(単位：百万円、%)

品 目	平成25年生産実績		平成26年生産実績				平成27年生産実績					
	年間合計	前年比	1～6月合計	7～12月合計	年間合計	前年比	1～6月合計	前年同比	7～12月合計	前年同比	年間合計	前年比
ドリル	22,971	97.5	12,842	13,814	26,655	116.0	14,599	113.7	15,507	112.3	30,106	112.9
ミーリングカッタ	21,990	103.4	11,657	11,875	23,532	107.0	13,416	115.1	14,598	122.9	28,014	119.0
ギヤカッタ	8,863	87.8	4,658	4,921	9,579	108.1	4,815	103.4	4,780	97.1	9,596	100.2
ブローチ	11,748	106.6	6,160	5,698	11,858	100.9	6,187	100.4	6,605	115.9	12,792	107.9
タップ・ダイス	29,268	82.7	16,185	16,770	32,955	112.6	19,120	118.1	18,739	111.7	37,859	114.9
リーマ	600	223.6	356	394	750	124.9	447	125.7	831	211.0	1,278	170.5
バイト	2,303	94.8	1,285	1,332	2,618	113.7	1,254	97.6	1,295	97.2	2,550	97.4
その他切削工具	332	95.5	175	200	375	112.9	164	93.9	167	83.3	331	88.3
合 計	98,075	93.9	53,318	55,004	108,322	110.4	60,002	112.5	62,523	113.7	122,526	113.1

(出典：旧日本工具工業会 会員統計)

超硬工具 平成25～27年出荷額実績

(単位：百万円、%)

品 目	平成25年出荷実績		平成26年出荷実績				平成27年出荷実績					
	年間合計	前年比	1～6月合計	7～12月合計	年間合計	前年比	1～6月合計	前年同比	7～12月合計	前年同比	年間合計	前年比
切削工具	219,531	103.2	124,303	130,641	254,944	116.1	135,339	108.9	129,199	98.9	264,538	103.8
(うち刃先交換チップ)	119,645	105.5	68,154	71,273	139,427	116.5	73,364	107.6	72,374	101.5	145,738	104.5
耐摩工具	34,114	96.3	18,450	19,421	37,871	111.0	19,910	107.9	18,466	95.1	38,376	101.3
鉱山土木工具	8,423	105.3	4,701	5,256	9,957	118.2	6,095	129.7	5,262	100.1	11,357	114.1
その他工具	4,459	106.8	2,575	2,339	4,914	110.2	2,553	99.1	5,450	233.0	8,003	162.9
焼結体・工具	23,586	106.2	13,214	13,911	27,125	115.0	14,391	108.9	13,853	99.6	28,244	104.1
合 計	290,113	102.7	163,243	171,568	334,811	115.4	178,288	109.2	172,230	100.4	350,518	104.7

(出典：旧超硬工具協会 会員統計)

編集後記

春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。このJTA Journal No.4は、4月に発行ということで、桜をイメージしたピンク色の帯にしました。機関誌を手に取り、春を感じていただけたでしょうか？春は出会いと別れの季節ともいいますが、はじまりの時でもあります。今回

のNo.4から機関誌編集委員による、交流会や総会などの取材を始めました。皆様のお力添えをいただきながら、一層の努力を重ねて参ります。JTA Journalへのご意見ご要望がございましたら、お気軽に声をおかけください。そこで皆様に出会えることを楽しみにしています。(N.K)